

拝啓 合唱コンクールを頑張った君たちへ

ドアの閉まる音 カレンダーの印 教室から聞こえる 君たちの歌声――

その一つひとつに耳を傾けながら、

「いよいよ合唱コンクールなんだな」と、この日が来るのを心から楽しみにしていました。

今年度は、夏の風を感じる頃に行われる授業参観前日に合唱コンクールを開催しました。

これは本校でも特筆すべき、歴史的な出来事です。

この舞台にふさわしい感動を皆さんは見事に創り上げ、本校に新たな青き伝統を生み出す存在となりました。

日々の練習は、決して順風満帆だったわけではありません。

楽しいことばかりじゃない日常に、さまざまな葛藤や苦労もあったことでしょう。

時にはたまに喧嘩をしたこともあったと思います。

それでも皆さんは諦めず、クラス全員で協力して、ひとつの音楽を形にしていきました。

指揮者や伴奏者がだれにも見えないところでがんばっていたことをクラスのみんなは知っています。

努力が報われず 不安になって 珍しく親に当たったりした人もいたことでしょう。

溢れだした涙 それでも前を向いて練習して

そうやってきた涙ぐましい努力があったからこそ、クラスがまとまり、舞台での一体感が生まれました。

ある曲の中で、「今 私たちは はるかな道を 未来にむかって歩み始めた」というフレーズがありました。

合唱コンクールを通して、皆さんが確実に成長し、新しい一步を踏み出したことを、私は強く感じています。

この合唱コンクール 輝くのは、ただの音楽ではありません。

そこに懸けた皆さんの時間、想い、努力そのものが、輝きを放っていたのです。

これまでの日々をふり返れば、ふりかえれば数えきれない 思い出があふれだしてくることでしょう。

共に流した涙の向こうに見える青春の日々

つらいことも うれしいことも 分かち合えるそんな友との出会い

それこそが、皆さんがこの合唱を通して手に入れた、かけがえのない宝物です。

「魔法はいつか 解ける」と僕らは知っています。

でも、そこで育まれた絆は、魔法が解けたあとも、昔日の思いを残して皆さんの心に残り続けるでしょう。

幸せなような 涙が出そうな この気持ちはなんて言うんだろう

その気持ちは、今しか味わえない特別なもの。

嬉しいのに 涙があふれるのは 君が歩んできた 道のりを知っているからです。

さらに、忙しい中にわざわざ駆けつけてくれた母さんがくれた あのまなざしは一生忘れないでしょう。

ご家族の温かなまなざしが今日の皆さんの姿をより一層輝かせていたように感じます。

最後に、出来るだけ嘘はないように私の感想を記したいと思います。

皆さんの誠実な努力とまっすぐな心に直面した私は、何度も心から「ありがとう」ってつぶやいていました。

この合唱コンクールによって私は、人生というこれからの長い旅に思い出と言う贈り物をもらいました。

どのクラスも本当に素晴らしい合唱でした。ありがとうございました。

2025 年 5 月 16 日 中学教頭